

<日中戦争対立の原因>

昭和4年(一九二九年)1月25日-28日の中野正剛・第五六回帝国議

会予算委員会における満州某重大事件質問 (3)

張作霖爆殺事件の質疑応答・第六五回帝国議会予算委員会

是ハ張学良ノ「インフリーユーエンス」ノ下ニ書イタモノトモ言ハレテ居ル、張作霖ノ後継ノ張学良、旧奉天軍閥、奉天ニ於ケル外国使臣、悉ク日本ノ内閣総理大臣田中サンガ、議会ニ於テ一言モ言ヒ得ナイ程、深刻ナ問題トナツテ居ルコトヲ信ジテ、之ガ一般ニ拡ガリツツアル、

之ニ対シテ何等ノ手段ヲ執ラヌト云フノハドウ云フ詳デスカ、私ハ斯ノ如キ世論ニ対シテハ外務当局ニ於テ多少ノ手段ヲ執ツテ居ルダラウト思フ、其多少ノ手段ヲ執ツテ居ルコトニ対シテ、如何ナル反響ガアツタカト云フコトヲ承リタイト思フ、

是ハ総理大臣御自身ニ左様ナコトハマダ知ラヌト仰シャルナラバ外務ノ諸君ニ御尋ニナツテ、多少之ニ対シテ世界ノ世論ニ向ツテ挑戦セラルルコトガ、外務当局トシテ当然ナル処置デアルト思フ、

如何ナル御手段ヲ御執リニナリツツアルカ、内閣ノ如何ナル御努力ニ依テ此疑雲ヲ晴シツ、アルカ、国民トシテ之ヲ明白ニ承リタイ

○ 田中国務大臣

中野君カラ色々御話ガアリマシタガ、私ハ此処デー本議場デ申シマス通り、慎重ニ考慮シテ之ヲ調査シテ居ルト云フ以外別ニ言フ必要ハナイ、貴方ガ幾ラ仰シャツテモ私ハ之ヲ慎重ニ考ヘテ居ル（「逃ゲルナ」ト呼フ者アリ）逃ゲハセヌ

○ 中野委員

何所マデモ調査一点張デ、深甚ノ憂慮ヲ以テ此問題ノ推移ヲ日本国ノ為ニ考ヘテ居ル、国民ノ代表ノ前ニ何モ言ハズ、唯ソレダケデ押通サウト云フ御態度ヲ私ハ奇怪ニ思フ、

アナタ方ハ内地ノ新聞ニ出セバ発売禁止、国民ガ之ヲ言ヘバ、才前ハ売国奴、議会で物ヲ言ハサヌ、是ガアナタ方ノ態度デアル、而モ外国人ノ宣伝、外国新聞ノ記事、是等ニ向ッテハ日本ノ国権ハ及ビマセメガ、世界ノ外交ハ世論ノ外交デアル、雰囲気ノ外交ガ先ヅ前提デアル、

之ニ向ッテ何等ノ手段ヲ尽サズ、国民ガ之ヲ言ヘバ、才前ハ売国奴、日本の新聞ニ出セバ発売禁止、外国ノ世論、外圍ノ新聞ニ対シテハ、何等ノ対抗手段モ執ラヌ、世界ノ主張ノ前ニハ袋叩キニ遭ッテモ、日本ノ汚名ヲ晴ラス為ニ何等ノ努力モ為サズ、為ス氣概モ無イ、

吾々国民ハ日本ノ総理大臣ノ田中サンノ態度ヲ遺憾千寓ト思フ、私ハ是程ノ世界ノ風潮ニ対シテハ、何カ応戦ノ考ガナイカ、今迄為サラナカッタナラバ調査ヲ発表シ、兎ニ角調査セル材料ニ依テ、世界ニ向ッテ日本ノ潔白ヲ示ス何等カノ行動ヲ開始スルノ御心ナキヤト云フコトヲ御尋スル

○田中国務大臣 答弁致シマセヌ

○堀切委員長 答弁ハ無イサウデス

○ 中野委員

此事発生シテ既ニ半歳以上、調査ニモ程ガアル、調査中、調査中ト言ッテ、世界ノ世論カラ袋叩キニ遭ッテ、ソレニ向ッテハ抵抗スルコトモ出来ナイ、其氣概ナキ態度ヲ私ハ遺憾ニ思フ、

アナタ方ハ何モ言ヘヌ、調査中ダト仰シャルケレドモ、アナタ方ノ部下ニ於ケル官憲ハ、チャント其調査ハ出来テ居ルト言ッテ居ル、昨日ノ報知新聞一昭和4年1月25日、即チ二十四日ノ夕刊ノ報知新聞ニハ、門司ノ特電トシテ、木下関東長官ノ談ガ出テ居ル、

此木下長官ノ談ニ依ルト「議會デ問題ニナッテ居ル満洲ノ某重大事件ニ付テハ、政

府ノ命ニ依リ再三調査ヲ逐ゲ、其都度復命シテ置イタガ、奉天側ト共同調査ヲスレバ直グ判明スルニ、何故カ先方ガ取合ツテ呉レヌカラ、的確ナ犯人ヲ拳ゲルコトガ出来ヌガ、大体ノ想像ハ付カヌデモナイ、而シテソレヲ発表スルコトハドウカ、事件発生ノ場所、満鉄沿線ノ警備ヲ支那側ニ譲ツタコトガ事件ヲ誘致シタモノデアルコトハ拒マレナイ、

南方便衣隊二名ヲ我が守備兵ガ発見シテ射殺シタコトハ事実デアル、其際秘密文書モ握ツテ居タラシイガ、要スルニ事件ノ真相ハ恐ラク永久ニ発表スルコトハ出来マイトアル、

貴方ハ議會ニ於テ反対党ノ總裁ニ会見ヲ申込ンデ、議會デ問題ニシテ呉レルナ、アレハ言ウテ呉レルナト云ヒナガラ、貴方ノ総督ノ下ニアル所ノ関東長官ハ斯ノ如キコトヲ言ツテ居ル(「ソレハ新聞記事ダ」ト呼フ者アリ)

新聞記事デハアリマセヌ、関東長官ノ談トシテチャント出テ居ルー政府ノ命令ニ依リ再三調査ヲ逐ゲ、其都度復命シテ置イタガ、奉天側ト共同調査ヲスレバ分ルトアル、

私ハ総理大臣ニ承リマスガ、確ニ関東長官カラ十月頃、其報告書ノ詳細ナモノガ来テ居ルコトヲ私ハ承知シテ居ル、又外務省ノ方ニハ、支那側トノ共同調査ノ書類ガ到達シテ居ルコトモ私ハ知ツテ居ル、

更ニ又其破壊ノ行ハレタル場所ノ写真ガ、是ハ単ニ外務省ノミデナク、可ナリ枢密院其他ノ人々ノ手ニモ到達シテ居ルコトヲ私ハ知ツテ居ル、是等ノモノハ発表為サツテモ政府ノ立場ヲ悪クスルモノデハナカラウト思フ、私ハ是等ヲ此務算委員会ニ御出シニナツテ、支那側ガ調印シナイナラバ、日本独自ノ調査デ宜シイ、

日本独自ノ調査ニ依レバ斯ノ如キモノデアル、之ヲ以テ吾ミニ御示ニナツテ安心ヲ与ヘラレ、之ヲ以テ世界ノ前ニ日本ノ文明国トシテノ体面ヲ維持セラレ、更ニ支那側ガ勝手ノ調査ヲ出シタナラバ、ソレヨリ進ンダル技術的ノ立場ニ依ル日本ノ調査ヲ出シ、有ユル日本ノカヲ傾到シテ而シテ此疑ヲ打消スノガ、私ハ当然ト思フ(拍手)

関東長官ノ報告書並ニ外務省ニ到達シテ居ル共同調査、是ハ向フノ調印ヲ經ナクとも宜シイ、ツトニ御出シニナルコトハ出来マセヌカ

○ 田中国務大臣

関東長官ノ新聞記事ニ関係スル事柄ハ私ハ一向存ジマセヌ、又新聞ニアルコトガドウカスウカ、是ハ関東長官ガ来マシタラ分カリマセウガ、兎ニ角新聞記事ヲ以テ、彼此レソレヲ材料ニ貴方ニ御答弁スル必要ハナイト思ヒマス、

ソレカラ又其報告ガアルカナイカト云フコトヲ、アナタ方ニ此処デ申ス必要モナイ〔「必要アリ」「大ニアリ」「必要ナシ」「答弁出来マイ」ト呼フ者アリ〕

○ 中野委員

木下長官ガ新聞記者ニ話シタ事ハ何等ノ根拠ナキモノデアルト言ハレル、併ナガラ此記事ガ天下皆伝ヘラレテ居ル所、世間ノミデナク、日本ノ非常ニ枢機ノ事ヲ知ッテ居ル或ル人主ノ仲間ニ伝ヘラレテ居ル事、而シテ吾等ノ承ッテ居ル事ト甚ダ能ク似テ居ルカラ、吾々ハ疑問ヲ深カラシメルノdeal、

関東長官ガ何ト言ツタカ言ハヌカ、責任ナシト仰シャルガ、言ヒサウナ事deal、而シテ此中ニ二名ノ便衣隊ヲ射殺シタアル、是モ私ガ此処デ中上ゲナクトモ、是ハ当局者側カラモ御洩シニナツタ事ガ度々アル、満洲ニ於テモ誰デモ知ッテ居ル、其便衣隊ノ持ッテ居ツタ携帯書類ガ手掛リガアル、其書類ヲ見テ、其書類ニ依テ手掛リガアルト云フノハ何デセウカ、

アリフレタ凌印清ト云フ人間ガ居ル、其凌印清ハ常ニ南方ト通ジテ南方ノ宣伝使トカ云フ名前モ早タカラ貴ッテ居ツタ事ガアル、東三省、南方支那、ソレカラ東洋ニカケテノ一種ノ陰謀家、野心家deal、斯ノ如キ者ノ書類ヲ携帯シテ居ツタ事ヲ発見シタ、

是ハ木下君ノ言フ事ト、天下ニ流布シテ居ル事ト、我国ノ或ル機密ヲ知ッテ居ル人々ノ間ニ伝ヘラレテ居ル事ト皆一致シテ居ル、其凌印清ナル者ヲ我が官憲ノ手データビ捕縛シタ、捕縛シタガ之ヲ解放シタ、解放シタ後テ大連力何処カヘ行ッテ暫ク行方不明デアツタ其凌印清ガ、今度奉天ノ春日町ニチャント家ヲ構ヘテ、

以前貧乏デアツタ者ガ金持ニナツテ暮シテ居ル、之ハ如何ナル魂胆ガアルカ、南方便衣隊ヲ使ツタ凌印清ノ背後ニ如何ナル者ガアルカト云フ位ノ手掛リハアルダラウト思フ、

是等ノ問題ニ付テータビ捕縛シタル凌印清ヲ何故放シタカ、是ハ単ニ奉天官憲ニ於

ケル行政事務ノ問題デアルカ、是程ノ疑惑ガアル所ノ凌印清ヲ揃ヘテ何故放シタカ、之二付テ報告ヲ取寄セテ御話ヲ承リタイ

○堀切委員長 答辞ハアリマセメソウデス〔「委員長何故答弁サセナイカ」ト呼ヒ発言ヲ求ムル者アリ〕

○ 岡崎委員

議事進行ニ付テ一々中野君ノ御質問一々非常ニ痛切ナル御質問デアル、又悉ク政府ノ急所ヲ突イタ質問デアル(「ヒヤク」)況ンヤ中野君ハ、日本ガ罪惡ヲ犯シタト云フデハナイ、罪惡ヲ犯シタト言ハレテ居ルカ反論ヲシロ、斯様ニ国家ノ為ニ言ウテ居ル、之二対シテ総理大臣ガ言ヲ左右ニ託シテ答弁ヲシナイト云フノハ甚ダ不親切極マルト私ハ思フ、

殊ニ此議場ヲ御覧ナサイ、中野君ガ一々国家ノ為ニ熱弁ヲ吐クニ対シテ妨害ヲ極メテ居ル、傍聴者ノ所謂動物園トイフ連中ガ一々日妨害ヲ加ヘルノヲ、委員長ハ黙ッテ居ル事ガアルカ、

若シ然リトセバ我々モ亦大ニ妨害ヲ加ヘルノデアル(「ヒヤク」「ヤレク」)此国家ノ為ニ大事ナル質問ヲ為スニ対シテ一々妨害ヲ加ヘルト云フ事ハ怪シカラヌ、委員長ハ之ヲ制止ナサイ、同時ニ総理大臣ハ適切親切ニ答弁ナサルガ当然デアルト私ハ信ズルノデアル

○神田委員 委員長、議事進行ニ付テ併セテ関連事項ニ付テ発言ヲ……

○堀切委員長 神田君

○神田委員 此問題ハ非常ナル重大ナル問題ト考ヘテ居リマス、而モ事軍ニ立脚シテ質問ヲ致シマスルニ、何等ノ答弁ノナイト云フコトハ益々疑惑テ深カラシムル所以デアルト思ヒマス、此点ニ付テハ是非一ツ御答弁願ヒタイカラ、中野君ノ説ニ附加ヘテ私ハ言此議事進行上之ヲ御尋シタイト思フノデアリマス。此点ニ付テハ中野君ガ更ニ質問ヲ致シマシテ、其御答ヲ俟テ私モ質問致シタイト思ヒマス

○中野委員 田中総理大臣ハ御答ニナリマセヌカ

○堀切委員長 御答ニナリマセヌ

○中野委員 御答ニナリマセヌカー是ハ奇怪千萬ノ事デアリマス、木下長官ハ我ガ警備スベキ地域ヲ支那側ニ引渡シタコトガ事件発生ノ根本デアルト、斯様ニ言ッテ居ラル、総理大臣ニ御尋致シマスガ、事件発生ノ前ニ当ッテ、当然我ガ行政権ノ行ハレテ居ル其箇所、我ガ行政区域煮属スル場所ヲ支那側ノ要求ニ依リテ其警備ヲ彼ニ引渡シタ事ハ御認定ニナリマスカ

○田中国務大臣 今ノ警備区域ヲ支那側ニ何シタト云フコトガ、ソレガ本当カドウカト云フ御尋デアリマスネー是ハサウデセウ

○ 中野委員 総理大臣煮御尋致シマスガ、警備区域ヲ引渡シタ事ハサウデセウト仰シヤッタガ、是ハソナ漠然トシタ御答ヲ聴カウトハ私ハ思ハナイ、六月十二日ノ陸軍公報ガアリマス、之ヲ私ハ読上ゲマス、

「京奉鐵道ガ我満鐵線ト交叉スル地点ハ京奉線ガ満鐵線ノ下方ヲ通過スル關係上満鐵線ノ陸橋下ハ満鐵線路ノ一部トモ看做サルルヲ以テ本来支那軍隊又ハ警察官等ヲ配置スル能ハザル地域ナリ、然ルニ今次、張作霖ノ帰奉ニ際シテハ右交叉点ニ支那憲兵ヲ配置シテ警戒シタキ旨、

六月三日支那側ヨリ申出アリ、我ガ守備隊ニ於テモ時節柄支那側ノ申出モ尤モノコト、シ各方面ト打合セノ上支那側ノ申出ヲ容諾シ、支那側ハ皇姑屯駅ヨ審陽駅ニ重ル約一哩ノ間ノ京奉線路上ニ在ル騎兵及憲兵約五十名ヲ配置シ、該交叉点ハ三日午後八時頃ヨリ金中尉外数名ノ支那憲兵警戒配置ニ就ケリ」斯ウ云フ風ニアリマスガ、ソレハサウデセウト云フヤウナ漠然タル御答デハナクシテ私ハ重大ナル問題デアルト思フ、此警備区域ニ封シテハ候約上ニ依リテ日本ハ完全ニ又「エックスクルーシヴ」排他的ニ他ノ干与ヲ許サズ、

完全ニ我ガ行政権ガ行ハレテ居ル、此完全ニ我ガ行政権ガ行ハレテ居ル其地域ニ於テ、張作霖ハ爆死シタ、其完全ナル地域ヲ自分ノ方デ守ッテ居ナケレバナラナイノニ、支那側カラ形勢ニ鑑ミテ警備ノ必要ガアルト言ッテ申込ンダノニ對シテ、「守備隊ニ於テモ時節柄支那側ノ申出モ尤モノコトシ、各方面ト打合セノ上支那側ノ申出ヲ容諾シ」

ドウデス、警備置域ハ日本ノ行政権ガ行ハレ、日本に警備ノ責任ガアル、警備ノ権利ヲ持ッテ居ルト共ニ責任ヲ持ッテ居ル、而モ、アナタハソレニ先ッテ満洲治安維持ノ声明ヲ為シ、満洲ハ恰モ戒嚴令ノ執行下ニ於ケル如キ狀況ヲ呈シテ居ル此際ニ、満洲

ノ治安ノ岐ル、所ヲ一身ニ掛ケルト言ッテモ宜イ、

頗ル重大ナ關係ヲ持ッテ居ル、張作霖ガ北京カラ帰ッテ来ル、此帰ッテ来ル時間等
ニ對シテハ、我ガ官憲ニ於テモ十二分ノ注意ヲ払ッテ、北京ヲ立ッタノハ何時デア
ル、山海關ヲ通ッタノハ何時デア
ル、何処迄何時ニ乗タ、刻刻ニ情報ガ来テ彼等ノ列車ノ
沿線ヲ警備シテ居ル、

ソレ程ヤッテ居ル我ガ守備隊ガ、支那側カラ申出ガアツタカラ、時節柄支那側ノ申出
ガアツタカラ、時節柄支部側ノ申出ヲ容レルベキモノデハナイチャナイカ、時節柄一層
デスヨ、我ガ守備隊ハ緊張シテ帝国ノ名譽ノ為ニモ、其權利ト責任トヲ果スコトガ普
然デアルト私ハ思フ、(拍手)

其肝心ノ時機ニ「支那側ノ申出ニ依テ引渡シタト云フ、ソナ馬鹿氣タ事ヲヤルカラ、
日本帝国ガ其出来事ニ對シテ世界ノ疑惑ヲ蒙ルデハナイカ、私ハ総理大臣ニ御尋致
シマスガ、

此陸軍公報ハ一陸軍公報タルノミナラズ、総理大臣ハ之ニ對シテ責任ヲ御持チニナ
リマスカ、之ガーツノ御尋デアリマス、モウ1ツ時節柄支那側ノ申出モ尤モノコトシ、各
方面ト打合ノ上ニ守備隊ガ各方面ト打合セタト云フコトハ、奉天ニ於ケル日本ノ外
務官權ト打合ノコトカ、乃至外務当局トノ打合ノ上、四圍ノ情況ニ鑑ミ各方面ト打合
セタ、ドウ云フ打合ヲシタカ、ドウ云フ考ノ下ニ此守備隊ハ帝国当然ノ權利ヲ放棄シテ
支那側ニ御渡シニナツタカ、之ヲ伺ヒタイ

(つづく)